



全日本畳事業協同組合  
*All Nippon Tatami Business cooperative*

事務局

令和 7 年 6 月 26 日

## 第23回通常総代会を開催

令和 7 年 6 月 9 日ホテルグランドヒル市ヶ谷におきまして、第 23 回全日畳通常総代会が開催されました。

総代会に先立ち、12 時より東館 2F 琵琶の間において約 10 年ぶりとなる賛助会が開かれ、全日畳の執行部役員と賛助会員企業 10 社の方々が昼食を共にして、畳業界全般についての意見交換を行いました。



最初に挨拶した石河理事長は、「畳が多く流通した時代からそのまま残された組織がいくつもあるが、全日畳がそうであるように、実際の中身は半分以上になっている。

今の厳しい時代を生き抜くためにはダウンサイジングすることが不可欠、と先日の全畳振の総会でも申し上げた。」として、微力ながら業界団体の再編を促していくと述べました。また「全日畳は畳業界の中でイニシアティブを取れる団体に育ってきている。」とした上で、賛助会員の皆さまには(今回、会費の改訂を議案に出したが)引き続き今後も全日畳の活動に御理解と御協力を頂きたいと話しました。賛助会の皆さんからは、現況報告や今後の組合活動に期待する声が聞かれました。

午後 1 時 30 分より 2F 芙蓉の間において、第 23 回通常総代会がスタートしました。



式次第最初の、物故組合員の方々へ黙祷を行った後、次に石河理事長が以下のように挨拶しました。

「本日は大変お忙しい中、またご遠方よりご出席いただきました総代の方々、そして公務ご多忙にもかかわらず、有村先生をはじめ畳の関係省庁、他団体からも多くのご臨席を賜りました事、厚くお礼申し上げます。さて年に1度開催しますこの通常総代会は、言うまでもなく組合の最高意思決定機関でございます。総代会開催の目的は、組

織上の重要事項を審議して議決を行うことですが、同時に、出席者の皆様が問題を共有し合い、意識や士気を高めて頂く場でもあります。それを各支部に持ち帰って組合員にお伝え頂く事で、ひいては本日の総代会が、少しでも畳業界の活性化につながる事を願っています。」



続いて来賓が紹介されました。最初に、参議院選挙を控え御多忙の中、たたみ振興議員連盟幹事長の有村治子参議院議員より御挨拶を頂きました。有村さんからは初めて八代市を訪れ、蘭草生産農家の方々と意見交換を行ったこと、そこで農機具調達の困難さを聞き、すぐに製造確約についてメーカーに強く申し入れたことなどを話されました。また何度もお越し頂いている全日畳の畳販売促進キャンペーン tata 抽選会には、着物姿で事務所に来所され、今年も抽選会に楽しく参加させて頂いたことなど、親しみやすい有村先生独特のユーモアを交えて話されました。

続いて畳関係省庁からの来賓として臨席頂きました、農林水産省農産局果樹・茶グループ三村課長補佐からは、農水省の補助金でパンフレットを作成したことや、大阪・関西万博における農水省のブースで全日畳がワークショップを担当することなどを報告されました。



国土交通省不動産・建設経済局建設振興課城課長からは、全日畳が中野国土交通大臣に建設業許可における内装仕上げ工事からの畳工事の独立を陳情した件で



会議を持ったことや、今後も引き続きその件で意見交換を行うこと、また下請け工事に  
おける適切な施工単価の確保を目指していくと話されました。

経済産業省生活製品課住宅産業室潮崎室長からも御挨拶を頂き、畳が少しでも使  
われるよう畳業界との連絡会を設けたことや、昨年、他業種の今治タオル工業会を紹  
介して石河理事長に視察に行ってもらったこと、今年も霞ヶ関子どもデーでは 2 日間  
のイベントに全日畳に協力して頂こうと考えていると話されました。

次に、来賓でお越しいただいた方々全員の紹介がありました。



左より、農林水産省寺尾係長、経済産業省草深課長補佐、園原様、熊本県いぐさ・畳  
表活性化連絡協議会吉住会長代理



熊本県藺製品卸商業協同組合松永理事長、熊本県い草生産農家早川猛氏、日本規  
格協会グループ研修ユニット研修チーム小野寺氏、小高講師

来賓紹介の次に 11 名の方々の功労者表彰がありました。代表して岐阜県の宮澤礼  
秀さんに、石河理事長から表彰状と記念品が手渡されました。



功労者表彰を受ける宮澤さん

受賞者を代表しての挨拶

続いて議長団の選出に移りました。議案書・議事録は別書面を参照ください。

## い草生産農家 早川猛氏が講演

議事そして第1回理事会終了後、15時40分からは東館2F 芙蓉の間において、令和7年度い製品品評会で5度目の農林水産大臣賞を受賞された、熊本県い草農家の早川猛さんによる「熊本産地と今後の若手の育成」と題した講演が行われました。



早川さんは熊本産地の現状を自身の言葉ではっきりと話され、改めてい草畳表産地の衰退事情を再認識した総代の方も多かったことと思います。また、たたみ振興議員連盟の金子恭之会長（八代市選出衆議院議員）も、早川さんの講演を聴講するために懇親会に先立ってお越しになられ、熱心に耳を傾けられていました。





講演の後は、熊本県いぐさ・豊表活性化連絡協議会吉住会長代理や熊本県蘭製品卸商業協同組合松永理事長も加わって、活発な意見交換となりました。



## 懇親会

16 時 30 分からは白樺の間に場所を移し、65 名が参加して懇親会が開かれました。



冒頭、河野太郎衆議院議員(たたみ振興議員連盟副会長)が挨拶に立ち、「先ほど石河理事長と長田会長から、何やらドジャースの大谷選手に壘を贈りたいとの話を受けた。外務大臣の時に何度も Los Angeles の領事館には行ったし知人もいる。ここを退席したらさっそく電話してみようと思う。」との衝撃のスピーチがありました。



実は、大谷選手に子どもさんが誕生した際に、石河理事長と(一社)日本壘産業協会会長田会長が、壘の上で子育てをしてもらえたら良いなという話になったようです。経済産業省に打診したところ、領事館経由なら可能性があるとの返答を受けました。そこで海外の領事館に太いパイプを持つ河野先生に相談したのです。河野先生にこのように仰って頂いたことで、実現に向けて一歩進んだ感じがします。もし大谷選手に壘を贈るようなことになれば、壘業界にとってビッグニュースです。

続いて金子恭之衆議院議員(たたみ振興議員連盟会長)が、「先ほど早川さんの話を聞いたが、イグサの壘を残していかなければならないと強く思った。過去、東日本大震災や熊本地震の際には、たたみ振興議員連盟があったからこそ数多くの壘を仮設住宅に採用してもらうことができた。これからも力になりたい。」と述べられました。



続けて全日豊石河理事長が挨拶に立ち、「全日豊が、政界をはじめこれだけたくさんの方々に御越し頂ける団体になったことをとても嬉しく思う。」と話し、また初めて女性理事が誕生したことにも触れ、「女性や若手が活躍できる団体にしていかなくては団体の未来はないと思う。」と述べました。

乾杯は関西ブロック長である細川さんにご発声頂きました。後ほどお越しになる中野洋昌国土交通大臣を婿に持つ細川さんは、長い間京都支部の理事長を勤められ、陳情についても何かとお世話になっています。

乾杯の後、歓談に入りました。例年、テーブル席は地区の方々同士が集まって着座していましたが、せっかくの全国会合であり、是非知らない方との交流を深めて頂きたいということで、今回は席順を「あいうえお」順にしました。初めて隣席される方も多かったようで、名刺交換など皆さん大いに親交を深められていました。

しばらくして、中野洋昌国土交通大臣がお越しになられました。中野先生は直前まで国会にて参議院予算委員会締めくくり統括質問に出席されており、職務終了後すぐに会場に駆けつけて頂きました。



一民間団体の会合に、国益を担う現職の大臣が来ていただけることは、そうそう実現することではありません。スケジュールや警護の問題があります。大臣が専用車でホテルに到着してからどこを通過して部屋に入るのか、当日の出席者は誰か、誰と何枚写真を撮影するかなど、前日まで国交省の担当者と詳細な当日の、しかも分単位のタイムスケジュールの打ち合わせを行って実現したものです。

中野先生は12年前からたたみ振興議員連盟に属されており、今までにも各地域の行政における衝撃緩和の普及にご尽力頂いております。そして1月に、石河理事長



から畳工事の業種区分における陳情を受けたことについては、既に担当課に指示を出したと述べられ、これからも引き続きたたみの応援を惜しまないと挨拶されました。この後、全員が3つに分かれて中野大臣と記念撮影をさせて頂くことができました。



中野大臣が退席後もご来賓の方々の紹介が続きました。

3 日前に棋士総会を終えたばかりの(公社)日本将棋連盟の森下卓常務理事が挨拶に立ち、「藤井総太7冠とは彼が中学生の時に一度対戦して一敗です。」と、場内の笑いを誘いました。3月には棋士12人目となる通算1000勝という偉大な記録も達成された、将棋界のご重鎮であります。今回、連盟の特別対局室に「ひのさらさ」の畳寄贈を受けたことに触れ、「素晴らしい畳、そして良い香りのする中で、棋士が違った緊張感の中で将棋を指しています。」と話し、何度も寄贈への感謝を述べられました。



(公社)日本将棋連盟 森下卓常務理事      全国畳産業振興会 藤井会長

畳業界の中で最も歴史のある、全国畳産業振興会(全畳振)の藤井会長も山口県から駆け付けて頂きました。「今日の全日畳さんのこの盛会を見て、これからの畳業界を引っ張っていくのは全日畳しかない。近い将来、全畳振の事も石河(全日畳)さんに任せたいと思っている。」と、意味深い挨拶を頂きました。



(一財)ベターリビング住宅部 西本部長 (一社)日本畳産業協会 長田会長

BLの西本さんは現在、全日畳と行っている新畳のBL認証について、できるだけ早い制定に向け努力したいと話されました。

日本畳産業協会の長田会長は、「全日さんと非常にうまく連携を取ってやっている。業界が一丸になることは重要なこと、これからも全日さんと力を合わせ、業界に良いことは何でもやる覚悟。」と、心強い挨拶をされました。



吉住さんからは、全日畳の品質管理責任者セミナー開催の際に、畳表の見方講習を開催させて頂いてお世話になっていること、前期に全国い産業連携協議会の予算を使って、いぐさ・畳のパンフレットを作成できたこと、これからも畳振興のために全日畳に協力したいと話されました。

早川さんは、「先ほど講演会で色々話したので、もう話すことがないよ。」との言葉に場内大爆笑でした。いぐさ栽培が多忙なこの時期に、全日畳の総代会のために吉住さん、松永さんと共に熊本からはるばるお越し頂きました。

来賓紹介はまだ続きます。

全日畳におなじみのセミナー講師である小高さんも挨拶され、「また来年早々から

更新セミナーが始まりますよ！」と言われました。次回は少し異なる試みをしたいようなことも話されていました。

そして本日、全日畳で初めての女性理事誕生となったわけですが、その佐々木さん(愛媛)は、「初めてこのような場に来ました、どうかご指導の程宜しくお願いします！」

一級畳製作技能士と品質管理責任者資格を保持され、畳店経営者としてご活躍の、しかも女性の佐々木さんに理事になって頂いたことは、全日畳にとって特筆すべきニュースです。(佐々木さんは翌日、品質管理委員長に就任)



先ほど吉住さんのお話にもありました、農水省の事業案件で認可を頂いた tatami & のパンフレット作成チームです。今日はモデルの浅野さんに来ていただき、懇親会に花を添えて頂きました。撮影ではお子さんの機嫌なども心配されたのですが、お子さんにもプロ意識が芽生えていて、滞りなく撮影を終えることができたのです。





作成チームの一員として関わった司会の堀田さんから、デザイナーの藤村さんが紹介されました。藤村さんは数年前、執行部役員がちょっとしたきっかけで知り合い、すでに何度かあの斬新な tata キャンペーンのポスターも制作して頂いています。今回のパンフレットは女性目線を見た「畳」の紹介、というコンセプトの中で作られました。



司会の堀田技能推進委員長



デザイナーの藤村さん

時間はあっという間に午後 6 時 30 分に。  
皆さんまだまだ懇談したいという雰囲気でしたが、中締めとなりました。



ご発声は高知の岡添さんです。2 年の理事任期を終えられましたが、今回、総代会の副議長も勤めて頂き、また四国から理事に女性を御推薦頂きました。岡添さんの一本締めにて、盛会のうちに閉会となりました。

## 総代会、講演会、懇親会出席者

### 総代 41 名

北海道	南 佳男	新潟	井浦 伸行(代)
青森	高森 茂雄		笹岡 正栄(代)
宮城	佐々木 誠喜	山梨	宇佐美 真一
秋田	佐々木 誠一		堀田 登喜夫
	小田原 正典	岐阜	石河 恒夫
福島	中島 三喜		宮沢 礼秀
	松浦 茂和	京都	細川 哲夫
茨城	塙 宏文		武内 秀介(代)
	高津 達夫	大阪	唐川 貴行
	富永 重行		赤松 幸治(代)
群馬	半沢 雅之	兵庫	幸尻 明浩
	高澤 安正(代)	和歌山	谷口 秀雄
埼玉	熊木 義幸	鳥取	徳田 浩司
千葉	米井 仁	岡山	森川 正平
	池田 雅晴	広島	甲斐 靖彦
東京	青木 信男	徳島	寺奥 佳生
神奈川	神崎 征美	愛媛	大野 一康
	関口 純生	高知	岡添 雅也
新潟	新井田 智	長崎	荒木 敏昭
	磯貝 清英(代)	沖縄	岩本 久和
			新城 忍秋

### 総代以外 12 名

埼玉	岡田 暁夫
神奈川	砂川 貴幸
富山	中林 政彦
三重	大平 雅章
滋賀	的場 貴之
京都	磯垣 昇
広島	米花 俊明
愛媛	佐々木 京子
兵庫	大亀 亨
青森	江良 聡
岐阜	松葉 清幸
鳥取	吉田 政司

来賓(敬称略)

衆議院議員	国土交通大臣	中野 洋昌
衆議院議員	たたみ振興議員連盟会長	金子 恭之
衆議院議員	たたみ振興議員連盟副会長	河野 太郎
衆議院議員	たたみ振興議員連盟副会長	棚橋 泰文(代理)
参議院議員	たたみ振興議員連盟幹事長	有村 治子
経済産業省	製造産業局 生活製品課 住宅産業室 室長 課長補佐	潮崎 雄治 草深 志保理 園原 大河
農林水産省	農産局 果樹・茶グループ課 長補佐 地域作物第2班 係長	三村 真梨子 寺尾 南
国土交通省	不動産・建設経済局 建設振興課 課長	城 麻実
(一財)日本規格協会グループ	研修事業部 研修チーム 研修事業部 研修チーム 講師	小野寺 勉 小高 伸久
(一財)ベターリビング	住宅部品企画部 部長	西本 賢二 守屋 宏美
(公社)日本将棋連盟	常務理事	森下 卓
全国畳産業振興会	会長	藤井 健司
(一社)日本畳産業協会	会長	長田 久富
熊本県いぐさ・畳表活性化連絡協議会	会長代理	吉住 健一
熊本県藺製品卸商業協同組合	理事長	松永 賢一
熊本県い草生産農家		早川 猛
デザイナー		藤村 千夏
モデル		浅野 一都
全国中小企業団体中央会	振興部	菱沼 貴裕
員外監事		四方 茂



**賛助会員**(敬称略)

押出発砲ポリスチレン工業会		永吉 賢行
株式会社カンベ		佐々木 将
KLASS 株式会社		熊橋 武彦
大建工業株式会社	畳材部	足立 哲也
高田織物株式会社	代表取締役	高田 尚志
畳でおもてなしプロジェクト	事務局	渡辺光一
CSK 株式会社		西本 諒祐
東海機器工業株式会社	最高顧問	内藤 誠治
株式会社トクラ		勝又 将郎
トクラテック株式会社		福里 智一郎
山中産業株式会社(東京)	取締役	重松 貴志